

平成 27 年 9 月 15 日

会 員 各 位

構 造 懇 話 会  
会 長 森 川 英 典

### 第 478 回 構造懇話会 平成 27 年度 例会のご案内

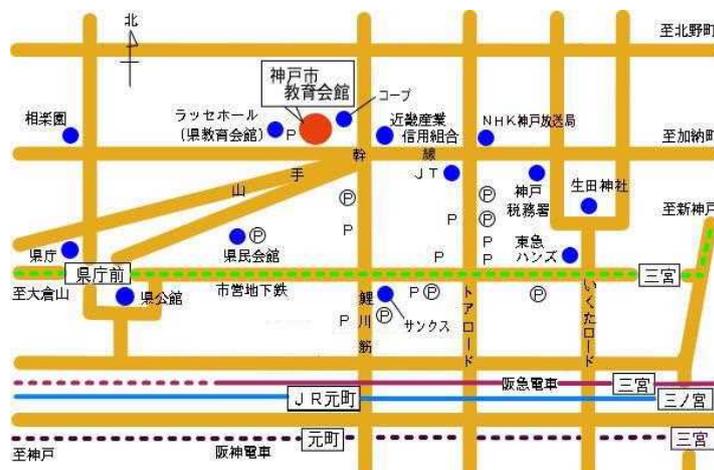
構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。  
標記の平成 27 年度 例会を下記のとおり開催いたします。  
つきましては、多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。

#### 記

1. 日 時 平成 27 年 10 月 19 日 (月) 13:30～16:30
2. 場 所 **神戸市教育会館 404 号室**  
神戸市中央区中山手通 4-10-5 TEL 078-222-4111
3. 議 題
  - 1) 例会 ①部 13:30～14:25  
『 GPS 海洋ブイの概要 』  
日立造船株式会社 東谷 修 氏  
  
休憩 14:25～14:30
  - 2) フリートーク 14:30～15:25  
構造懇話会 50 周年に向けて  
  
休憩 15:25～15:35
  - 3) 例会 ②部 15:35～16:30  
『 豪雨による斜面災害軽減のためのリアルタイム型危険度評価システム 』  
神戸市立工業高等専門学校 都市工学科 教授 鳥居 宣之 氏

[連絡先] 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町 2-20-6  
株式会社 長大 秋永 高史  
TEL : 06-6541-5796 / FAX : 06-6541-5486 / e-mail : akinaga-t@chodai.co.jp

[案内図]



構造懇話会 URL <http://www.kozokonwakai.org/>

## 第 478 回 構造懇話会 例会での報告概要

### 1. 『 GPS海洋ブイの概要 』

#### ①報告者

日立造船株式会社 東谷 修 氏

#### ②報告内容

2011 年の東日本大震災での津波被害の教訓から、30 年以内に発生する可能性が高いとされる南海トラフ地震に対しては、地震規模と津波高さの予想見直しが行われ、各地で対策が進められている。当社は、1998 年から GPS を搭載した海洋ブイの実証試験を実施、2003 年に初めてこのシステムで津波を観測し、以後、国内に 18 基の GPS 海洋ブイを納入している。

本発表では、GPS 海洋ブイの開発経緯、津波観測の状況、東日本大震災での津波観測時の課題、新型ブイの開発内容等について紹介する。

### 2. 『 豪雨による斜面災害軽減のためのリアルタイム型危険度評価システム 』

#### ①報告者

神戸市立工業高等専門学校 都市工学科 教授 鳥居 宣之 氏

#### ②報告内容

我が国では、梅雨期や台風期などの豪雨によって発生する斜面災害のうち、斜面表層部分が崩壊する表層崩壊と呼ばれるタイプが多く発生してきた。このような表層崩壊の発生を予測し、住民の警戒避難に繋げることは、斜面災害を軽減させる上で重要であり、斜面防災分野における急務の課題の 1 つである。

本講演では、表層崩壊による斜面災害軽減を目的として開発されたリアルタイム型斜面危険度評価システム（斜面崩壊が「どこで」、「いつ」起きるのかを短時間降雨予測データを活用して予測するシステム）について紹介する。